

礼拝プログラム ※注の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 179番
- *交読文 32番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 174番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 444番
- メッセージ イサク - 主と交わり、主と共に歩む祝福の家系(創世記 25:19-26)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 427番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

主は___に現れて言われた、／「わたしは全能の神である。___はわたしの前に歩み、全き者であれ。わたしは___と契約を結び、／大いに___の子孫を増すであろう」。(創世記 17:1-2)

主は___の牧者であって、___には乏しいことがない。

主は___を緑の牧場に伏させ、いこいのみぎわに伴われる。主は___の魂をいきかえらせ、み名のために___を正しい道に導かれる。たとい___は死の陰の谷を歩むとも、わざわいを恐れませぬ。あなたが___と共におられるからです。あなたのむちと、あなたのつえは___を慰めます。あなたは___の敵の前で、___の前に宴を設け、___のこうべに油をそそがれる。

___の杯はあふれます。___の生きているかぎりは／必ず恵みといつくしみとが伴うでしょう。___はとこしえに主の宮に住むでしょう。(詩篇23編)

イサクは、祝福が約束されたアブラハムのひとり子である。アブラハムには、子孫が海の砂粒のように、空の星々のように数多くされる、と主から約束されており、イサクのリベカとの結婚についても、主の奇跡的な導きの元に為され、主が明らか共におられる、はずなのに、イサク夫婦には、肝心の子が生まれなかった。結婚してから5年、10年経っても、15年経っても。主の約束では、子孫が空の星々のように増え広がる筈なのに、イサクが50代後半になっても生まれぬ。おかしい事である。

結婚20年目に、ようやく子が生まれるのだが、そのきっかけは、イサクが妻のために主に祈願したからだ。神の民であるキリスト者には、将来と希望の計画が定められおり、この世でも、来るべき世においても、祝福が約束されている。しかし、**主との交わりが全く無いなら、天からの祝福は全く滞ったままになってしまう。**

天国は、神が人と共に住み、人は神の民となるという、神と人との永遠に双方向に交わりを持ちつつ生きていく所である。だから、イエス様を信じ救われたなら、もうそれで終わりというものでは、決してない。神の民とされた人は、主と積極的に交わり生きていくべきであり、**主と交わりとは、何かにつけ主に祈り、礼拝し、御言葉に書かれてある通りに歩んで行く事**である。そのような主とのコミュニケーションを、人が取らなくなってしまうたら、主は、人にとって望ましくない事を起こしてでも、コミュニケーションを回復させる。

イサクが主に祈った事によって、ようやく妻リベカは身ごもるのだが、双子の子が胎内で激しくぶつかり合ってしまう。祝福の家系である筈なのに、こんなに激しくぶつかり合う事では、一体どうなるのか。彼女はすぐに、主の御心を求めに行った所、2つの国が胎内にあり、兄は弟に仕える、という事だった。最初に出てきた子・エサウは野性的で強く、後に出てきた子は、兄のかかと(アケブ)を掴んで出てきたためヤコブと名付けられた。ヤコブは生まれた時点から、常々、長男の権利と祝福を掴もうと狙って来たが、引き換えエサウは、長男の座に安住し、主に祈る事も、求める事もせず、野の獣を追い回していた。長男の座に安住し切って油断していたエサウは、やがて、弟ヤコブに長男の祝福を奪われてしまう。エサウは、長男の権利を、一杯の食物と引き換えに弟に売ってしまう程、聖なる尊いものを、軽んじていた。彼は後になって祝福を継ぎたいと願ったが拒絶された。『彼はその後、祝福を受け継ごうと願ったけれども、捨てられてしまい、涙を流してそれを求めたが、悔改めの機会を得なかったのである。』(ヘブル 12:17)

ここはKJVでは「for he found no place of repentance」すなわち、彼の心のスペースから、一切「悔い改め」という部分は見つけられなかった、という事だ。彼のように「主に求めない」「聖なるものを軽んじる」「悔い改めない」とするなら、祝福の家系から切り離され、別の者にその座を譲る事になってしまう。(ローマ 11:22)

主は、愛する子を、敢えて懲らしめられる(ヘブル 12:5-8)。それは、羊飼いが羊達を緑の牧場へと追うように、祝福がもつと植えられている地に行くよう、私達を追いやり、**より高い祝福の次元へと登らせるためだ**。自分は祝福の子である、はずなのに、なぜか望ましくない事が起きているという時は、主の御心は何かを求めるときである。イサクもリベカも、アブラハムも、望ましくない事が起きた時は、祈った。

『それだから、あなたがたのなえた手と、弱くなっているひざとを、まっすぐにしなさい。』(ヘブル 12:12)

手は主の働きをする部位であり、膝は、ひざまずいて祈るために用いる部位であるが、私達は御心を外した事をする時、やること為す事全て健やかではなくなり、手も足も疲れ弱ってしまう。仕事や人生において、実りなき徒労の日々を演じてしまったのは、祈る膝がなく、身勝手な手を動かし続けてしまった故である。問題が起きた時、主のために働くべき手、祈るべき膝が萎えていないか、点検するべきだ。

『また、足のなえている者が踏みはずすことなく、むしろいやされるように、あなたがたの足のために、まっすぐな道をつくりなさい。』(ヘブル 12:13) 信仰者の歩みは、道が真っ直ぐになってから歩み出すのではなく、まず私達の側が、主の通られる道を真っ直ぐにする所から、である。どのようにしてか。

荒野で叫ぶ者・バプテスマのヨハネは「主の道を備えよ、その道筋をまっすぐにせよ」(マタイ 3:3)と叫んだが、彼が説いたように、**悔い改める事、以前の自分に死ぬ事(バプテスマ)によって、主の道が整えられる**。天国は、バプテスマのヨハネの時以来、激しく襲われており、激しく襲う者たちが、それを奪い取っている(マタイ 11:12)。エサウのように安住して主との交わりを止めたりせず、イサクやヤコブのように祈り、求め、祝福をどんどん奪って行く皆さんでありますように、イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube